


平成28年9月11日掲載

「ふくいの名木」

| | |
|--------------|--|
| ふくいの名木・名花ブック | P249 |
| 名 称 | やくしどうこじゅりん 薬師堂古樹林 |
| 所 在 地 | さばえししもしんじょうちょう63あざ 鯖江市下新庄町63字 |
| 見 頃 | — |
| 記 事 | <p>下新庄町の小山の上に薬師堂があり、平安時代中期の作といわれる薬師如来がまつられている。この山は、古墳時代後期の円墳と推定されている。</p> <p>面積約560m²の小山には、ケヤキ、ツバキ、イチョウなどが林を形成している。高木層は、6本のケヤキが6本で、その下層をヤブツバキが占め、林床は常緑多年草のジャノヒゲが繁茂して、暖帯林の様相を残す。近年は、サルスベリ、ツツジ、ウメ、サクラ、ナンテン、マサキなども植えられている。市指定の天然記念物。</p> |
| 写 真 |  |
| 問い合わせ先 | 福井県総合グリーンセンター ☎0776(67)0002 |